

革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）  
「きく類生産・流通イノベーションによる国産シェア奪還」  
公開シンポジウム【夏秋期のキク生産・流通の現状と展望】開催要領

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構野菜花き研究部門  
花き生産流通研究領域 久松 完

1 趣旨： 日本の花き産業は、日本経済および農業において重要な位置を占めている。これまで収益性の高い花き生産を拡大することにより、国内農業の所得向上に寄与してきた。しかし近年、花き類の苗ならびに切り花生産において国際化が急速に進行しており、海外産の品質向上、安定供給体制の整備を背景に輸入が増加してきた。地域戦略（きくシェア奪還）コンソーシアムでは国内生産・流通量の最も多いきく類を対象に国際化に対応するため国内需要動向の分析と国内生産・流通の今後の方策、安定効率生産のための技術開発に取り組んでいる。本シンポジウムでは、計画生産・安定供給が強く望まれている夏秋期のキク類にフォーカスして国内需要動向と計画安定生産のための今後の技術開発の方向などについて論議する。

2 開催日：平成29年8月23日（水） 13:00～（受付 12:30～）

3 開催場所：文部科学省研究交流センター [国際会議場]  
（茨城県つくば市竹園二丁目20-5）  
【[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/kouryucenter/005.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/kouryucenter/005.htm)】

4 議題

- 1) 市場/実需者からみたきく類の現状と展望
- 2) 実需者ニーズに対応した夏秋露地ギク産地の取り組み
- 3) 効率化・安定供給に向けた技術開発の現状と展望

5 参集範囲：産地関係者・市場関係者・販売関係者・公的機関関係者・その他関係者

6 事務局および連絡先

「地域戦略（きくシェア奪還）コンソーシアム」事務局：  
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 野菜花き研究部門  
担当：久松 完 【[PGR-flower@ml.affrc.go.jp](mailto:PGR-flower@ml.affrc.go.jp)】  
〒305-8519 茨城県つくば市藤本2-1  
TEL :029-838-6819 FAX :029-838-6841



## 【プログラム】

13:00-13:15 趣旨説明

農研機構 久松 完

### 第1部 市場/実需者からみたきく類の現状と展望

13:15-13:45 市場流通での現状と展望

株式会社大田花き 田中秀昭

13:45-14:15 量販需要での現状と展望

株式会社ゼントクコーポレーション 伊藤 衛

### 第2部 実需者ニーズに対応した夏秋露地ギク産地の取り組み

14:15-14:40 量販需要をターゲットとした小ギク産地育成

JA全農長野 (担当者)

14:40-15:05 露地電照で夏秋需要期の計画生産

福島県農業総合センター 鈴木詩帆里

15:05-15:30 地域の流通販売に対応した生産技術の開発と普及

富山県農林水産総合技術センター 園芸研究所 島 嘉輝

15:30-15:45 休憩

### 第3部 効率化・安定供給に向けた技術開発の現状と展望

15:45-16:10 キク切り花の品質保持 -特に葉の黄変対策について-

クリザール・ジャパン株式会社 東 明音

16:10-16:30 ICTを活用した生産組織内の生育情報共有システムによる出荷予測

株式会社インテック 山口浩之

16:30-16:45 露地大規模効率生産に向けたキク苗移植機の開発

農研機構 住友克彦

16:45-17:00 総合討議